

被服学の未来 V

ファッション×モノづくり

衣服におけるモノづくり – 技術の継承 –

2026年2月20日(金) 10:30~12:30

会場 日本女子大学 80年館 851教室

東京都文京区目白台2-8-1 (最寄駅: JR目白駅、東京メトロ護国寺駅・雑司が谷駅)

国内の繊維産業は、低コストを武器とする海外のサプライチェーンによる影響を受けて事業所数を減少させてきました。一方で、国際的に競争力を保有する企業は残り、市場での存在感を発揮している現状にあります。これらの事業所では、付加価値の創出や人材の確保、技術の継承が課題となっています。

本シンポジウムではこのような背景のもとで、技術の継承について企業の方による講演・パネルディスカッションを通じて「被服学の未来」を考察します。

〔参加費〕無料

〔申込み方法〕下記URLあるいはQRコードより

〔締め切り日〕2026年2月10日(火)

<https://forms.office.com/r/vePRTSAHM3>



〔主催〕日本女子大学 家政学部 被服学科

〔協賛〕繊維学会被服科学研究委員会

〔申込・問い合わせ先〕

日本女子大学家政学部被服学科
hihukujwu@fc.jwu.ac.jp

Speakers

株式会社サンヨーソーイング
代表取締役社長 永野孝志氏

株式会社三陽商会入社後、パタンナーとして国内外ブランドのテラード技術を担い、各ブランドの品質基準を構築。自社工場の改革と本社技術部門の統括を経て、現在はサンヨーソーイング社長として国内縫製の技術革新と人材育成を推進。TES、特級技能士。



10:30-10:40 開会の挨拶

10:40-11:10 講演

株式会社サンヨーソーイング 代表取締役社長
永野孝志氏

11:10-11:40 講演

株式会社デサント 経営企画・ロジスティクス・R&D
ユニット 仕入管理部部長 兼 仕入計画課課長
齋藤孝太氏

11:40-11:45 休憩

11:45-12:15 パネルディスカッション

モデレーター: 勝又淳司 (日本女子大学被服学科講師)
パネリスト: 永野孝志氏 齋藤孝太氏

12:15-12:25 質疑応答

12:25-12:30 閉会の辞

12:30-13:20 情報交換会

株式会社デサント

経営企画・ロジスティクス・R&Dユニット
仕入管理部 部長 兼 仕入計画課 課長

齋藤孝太氏

2005年(株)デサント入社。国内営業、フットボールカテゴリーの商品企画を経て商品の調達部署を担当。新設されたR&Dセンターでの研究開発業務を経て、現在は仕入業務部署の責任者に就く。現在は海外の工場との直接取引の推進及び全社統一での生産の仕組みを構築中。